



2024年10月15日

各位

会社名 株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 グループ CEO 安井 豊明
(コード番号：4433 東証プライム)
問合せ先 執行役員 社長室長兼経営企画部長 飯島 幸一
(TEL. 03-5924-6075)

特別損失の発生及び繰延税金資産の取り崩し 並びに通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2024年8月期通期（2023年9月1日～2024年8月31日）において、減損損失及び投資有価証券評価損の特別損失への計上並びに繰延税金資産の一部取り崩しによる法人税等調整額の計上をいたしました。その結果、2024年4月15日付で公表いたしました通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年8月期通期連結業績予想と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	58,810	2,450	2,430	1,058	59.30
実績値（B）	58,547	1,568	1,536	△43	△2.44
増減額（B－A）	△262	△881	△893	△1,101	
増減率（％）	△0.4	△36.0	△36.8	—	
（参考）前期実績 （2023年8月期）	63,980	4,198	4,300	1,885	105.70

2. 差異の理由

販売営業支援セクターのうち通信分野の売上高の縮小が想定を上回ったこと及び当社の連結子会社である株式会社FMG等のグループ化により大幅に拡大する予定であったインバウンドセクターにおいて、収益化が当初計画より遅れたこと並びに人件費の増加等により販売費および一般管理費が増加したことを主要因として、営業利益及び経常利益において前回発表した業績予想を下回りました。

また、特別損失として減損損失170百万円及び投資有価証券評価損84百万円を計上したこと並びに繰延税金資産の一部を取り崩し247百万円の法人税等調整額を計上したことにより、親会社株式に帰属する当期純利益が△43百万円となり前回発表した業績予想を下回りました。

3. 減損損失及び投資有価証券評価損

減損損失につきましては、当社の連結子会社であるヒト・コミュニケーションズ（以下ヒト・コミュニケーションズ）が運営する商業施設について、事業収益の悪化により減損の兆候が確認され、将来回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき関連する固定資産 170 百万円の減損損失を計上するものであります。

投資有価証券評価損につきましては、当社の連結子会社である株式会社ビービーエフが保有する投資有価証券について、実質価額が著しく下落したため、投資有価証券評価損 84 百万円の計上を行うものであります。

4. 繰延税金資産の一部取り崩し

ヒト・コミュニケーションズにおいて現在の事業環境及び今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2024 年 8 月期連結会計年度において繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額を 247 百万円計上いたしました。

以上